

授業科目名	社会科・公民科指導法Ⅳ	必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）					
サブタイトル	公民科教育の理論と実践	担当者	小松 伸之			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>高等学校公民科教育について、理論と実践の両面から学ぶ。前半では、3つの科目それぞれの目標や内容を学習するとともに、実践例を分析することで理解を深める。後半では、小グループによる模擬授業づくりを行って授業の組み立て方を身につけるとともに、代表者による授業実践や参加者による授業分析を行うことで、公民科教師として求められる実践的なスキルを養う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>○学習指導要領における高等学校公民科教育の目標や内容について理解を深める。</p> <p>○学んだ内容をもとに学習指導案を作成し、模擬授業を実践することができる。</p>					
履修条件	社会科・公民科指導法Ⅰを履修済みの者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】社会認識教育学会編『公民科教育』学術図書出版社 『高等学校学習指導要領解説 公民科編』教育出版</p> <p>【参考書】適宜、教場で指示する。</p>					
授業回数	内容					
1	高校教育の特質					
2	公民教育と公民科教育について					
3	現代社会① 目標と内容構成					
4	現代社会② 教材研究と授業方法					
5	現代社会③ 授業実践と分析・検討					
6	政治・経済① 目標と内容構成					
7	政治・経済② 教材研究と授業方法					
8	政治・経済③ 授業実践と分析・検討					
9	倫理① 目標と内容構成					
10	倫理② 教材研究と授業方法					
11	倫理③ 授業実践と分析・検討					
12	模擬授業準備、学習指導案作成					
13	模擬授業①（現代社会）					
14	模擬授業②（政治・経済）					
15	模擬授業③（倫理）					
評価方法	課題・学習指導案(60%)、模擬授業(25%)、平常点(15%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。					
評価基準	授業内容についてよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	※中1種免社会は選択科目					